



GIFU MINAMI LIONS CLUB

～ 2024 - 2025 ～

岐阜南ライオンズクラブ例会報告書

第1600回 羽島LC合同例会

2024年11月21日 (木) 12:15 岐阜グランドホテル 司会 L.川出 正男

334 複合地区 スローガン

ニーズにこたえるライオンズクラブ
感謝でかえよう複合地区から

334-B地区 スローガン

人々に健康と希望を!! We Serve
楽しくなくちゃライオンズ

岐阜南ライオンズクラブ会長方針

ライオンズクラブに在籍している意義を今一度見直し、
物心両面で実り多いクラブメンバーをみざそう!
～クラブで友と出逢い、友と大いに語ろう～

例会プログラム

第1546回 羽島ライオンズクラブ 第1600回 岐阜南ライオンズクラブ合同例会

開式ゴング 会長 L.加藤 憲
 国旗及びライオンズ旗に礼
 国歌並びにライオンズヒムの歌 斉唱
 ゲストご入場 岐阜南LC 会員委員長 L.大島 恵子
 ゲストのご紹介 岐阜南LC 幹事 L.可児 隆
 日本赤十字社 岐阜県支部 事業推進課長 清水 剛様
 岐阜南ライオンズクラブ会長 歓迎の挨拶 会長 L.加藤 憲
 羽島ライオンズクラブ会長 ご挨拶 会長 L.山田 優

《 食 事 懇 談 》

卓話 『防犯セミナー 能登半島地震対応について』
 講師：日本赤十字社岐阜県支部 事業推進課長 清水 剛様

ゲストのご退場 岐阜南LC 会員委員長 L.大島 恵子
 TT登壇 副幹事 L.川田 基弘
 幹事報告 羽島LC幹事 L.田中 亮徳
 岐阜南LC幹事 L.可児 隆
 委員会報告 羽島LC・岐阜南LC 各委員会
 出席報告 羽島LC・岐阜南LC 出席委員
 会計報告 羽島LC会計 L.菊井 恵
 岐阜南LC会計 L.加藤 知彦

次回例会ご案内 岐阜南LC計画委員会
 12月5日 (木) 12:15 岐阜グランドホテル
 『教養例会』
 また会う日まで
 閉会ゴング 羽島LC会長 L.山田 優

会長あいさつ

会長 L.加藤 憲



こんにちは。本日は羽島ライオンズクラブさんをお招きして賑やかに例会を行います。

羽島ライオンズクラブさんは私が改めて申すまでもありませんが、長年「薩摩義士顕彰事業」をやってらっしゃいます。鹿児島ライオンズクラブさんと交流して行ったり来たり、毎年親しく交流して顕彰事業を行っています。今日はその話も少し聞かせて頂けたらと思います。

岐阜南ライオンズクラブがコンサルタントであると聞いておりますが、結成67年と65年で2年しか違いませんので、それぞれ立派ないい年の人物です。それぞれの自立した活躍も自立した活動もお互い刺激し合いながら互いの発展に少しでも貢献出来ればと思います。

季節はどんどん涼しくなり、いきなり冬かという感じですが、体調管理も気を付けて頂きながら活発な活動を宜しくお願いします。

今日はようこそお越し下さいました。

羽島ライオンズクラブ会長ご挨拶 L.山田優



皆さん改めまして、こんにちは。

今日は親クラブの岐阜南ライオンズクラブさんの第160回の例会という節目の例会という事で、お祝い申し上げたいと思います。我がクラブでも結成65年が経ちまして来年の4月26日には結成65周年式典を開催すべく今準備を進めている所でございます。

先程加藤会長からのお話もございましたように、我がクラブの誇りとする事業の一つの中に「薩摩義士顕彰」がございます。この濃尾平野を含めて木曾三川、洪水が続いております。それを縁もゆかりもない鹿児島島の薩摩藩から来て頂いて、多額の費用を自分たちに薩摩藩から持ち出して頂いて造成して頂いた。今の堤防となる礎を造って頂いたということで、65年間継続して薩摩義士顕彰がございます。それを今後も70年・80年・100年と継続して行って行く為には、やはり会員の増強で予算も付けなければいけません。そういったところから羽島ライオンズクラブとしまして、やはり会員の増強が一番ではないかということで、色々PRも行ってあります。先日羽島駅の駅前フェスタにおいて初めてPRブースを盲導犬協会の方と一緒にやって開設させて頂きました。そこでお手元にお配りしているような羽島ライオンズクラブのPRパンフレット、あるいはポケットティッシュを配らせて頂いて、羽島ライオンズクラブが「こんな事やってますよ」と広く告知させて頂きました。昔は私もよく聞きました。「ライオンズって何ですか?」「野球チームですか?」「野球クラブですか?」「ライオンズマンション経営者の集まりですか?」と聞きまして凄く寂しくなって、やはり皆さんに知って頂こうとPRパンフレット等を作りました。そんな中で今後今から種まきをして「僕も私もライオンズクラブで活動したい」という人が一人でも増える事を願っています、また幹事とも打ち合わせをしておりますが、若い経営者の方に入って頂きたいという事で今努力を進めて参ります。

やはり啓発活動をして良かったのは「羽島ライオンズクラブさんはそんな事もやってたんですね」と。「全小中学校に防犯カメラを設置して頂いたんですね」と。そんな事も分かってみえない、我々の事業を知って頂いてないという事から、広く種まきが必要かなという風に思っております。

結びになりますけどこれからも親クラブである岐阜南ライオンズクラブさんの背中を見させて頂きながら、頑張っと思っていますので、宜しくお願ひ致します。

卓話「防犯セミナー能登半島地震対応について」

講師：日本赤十字社岐阜県支部
事業推進課長 清水 剛様



こんにちは。只今ご紹介に預かりました私、日本赤十字社岐阜県支部から参りました清水と申します。普段は災害救護に携わり、これからお話しする本年の1月1日に起きました能登半島地震の対応についてお話しさせて頂きたいと思ひます。

まだ被災地は避難されている方が実際にいらっしゃる、まだまだ仮設住宅にも入れない様な方がいらっしゃるという状況です。現場の方もまだ家屋も倒壊している状況でございます。そんな中で赤十字社も長く支援を行ってきたいと思ひます。今現在は医療救護班等は引き上げておりますが、ボランティアを中心に地元の支援をやっております。

それではその報告をさせて頂きたいと思ひます。お手元に資料は配布させて頂いてますが、モニターを見て頂いて少し振り返りになりますが、まず内容ですが1月1日16時10分です。能登地方を震源とするマグニチュード7.6という大きな地震でした。志賀町で震度7七尾市・輪島市・珠洲市・穴水町で震度6強。この珠洲市で3メートル超の津波もあったと聞いております。今回の災害の特徴ですが、今までは変わってまして地形です。能登半島という地形が大きく、非常に広域災害という能登半島全体が震災の渦中にあります。また1月1日という冬だったので雪も降る中、道路の積雪があるという状況で救護にも支障が出ている状況でした。道路に亀裂が入っているんですが本来なら車が通れない様な所ですが、積雪があつて亀裂が見えず事故が起こったと聞いております。珠洲市では50%を超えている様な非常に高齢化が高い地域です。それから能登半島全体が断水。これが非常に長く続きました。トイレ問題がありまして、よくトイレはお風呂の水を残しておいてそれを流すと良いと聞くんですが、実はそういう事をすると中の配管が壊れている場合は逆に溢れてしまう。水は流さないでという指導をしております。携帯トイレも使いました。既存のトイレにビニール袋を装着して、用を足した後に粉末で固めるとそのまま生ゴミで出す事が出来る。そういった事をして半年間のいだ状況です。

元里山街道というメインの道路が寸断された事が非常に大きいのですが余震が続いたんです。昨日まで通れた海岸線の道路が山崩れ・土砂崩れにより道が寸断されて救護班も現地に行けない。

救援物資も持って行けないという状況が長く続いておりました。移動に当初10時間以上掛かったという事例があります。一見ヘリコプターや船で行けるんじゃないかと思ったりするんですが、冬の日本海ですから非常に荒れておりましてヘリコプターで近付く事も難しい。船もまた同じです。陸路を行かないといけない状況で救護が続いておりました。

ここからは被災状況を見て頂きますが珠洲市の沖合に見附島という島があるんですが地元の方は軍艦島と呼んでるそうです。この島の土砂も崩れて形が変わってしまいました。

珠洲市の状況ですが家屋が倒れ瓦礫が散乱している。古い日本家屋で耐震補強していない家屋が結構あり軒並み倒れていました。ちゃんと補強している家屋は無事残っている状況です。

輪島市の状況ですが、電柱が倒れているので非常に大きな揺れだったという事が分かります。ビルの横倒しもつい先日解体工事が始まったんですが非常に遅いですね。解体が始まり復興に向けて進んでる状況です。輪島の朝市ですがここは火災による延焼です。見る限りもない状況です。輪島市の門前町、ここは港でしたが本来漁港でしたがそこが隆起が起こって能登半島自体にプレートが潜り込みました。海岸線が遠くなり漁業も出来ない状況です。

穴水町の道路ですが隆起により道路に段差が出来て車が入り込んでしまっている。この写真は暖かくなってから撮影しましたが実際は雪道で覆われていたので、こんな風になっていると分からずに車が進んだらうと思います。

では赤十字救護班の活動をご紹介します。災害救護の活動方針がありまして、まずは被災者の尊厳を守るという事。そして地域の住民の方が健康で安心して生活が出来る様に人道的な支援を行う。そこに配慮しながら災害救護を実施しています。最近では医療資源救護班、これを効率良く運用する為に災害医療コーディネイトチームという組織を作っています。赤十字社以外にもDMAT・医師会チーム、民間のチーム、色々なチームが来ますが、その団体毎にやりたいようにやっているとなかなか効率的にうまく出来ませんのでコーディネイトチームが指揮をする事によって、調査して医療資源をここに投入した方が良いのではという様な戦略を立てながら救護班を采配するチームです。それぞれ今は市町村が主体となって災害救護を実施しておりますが市町村毎に医療調整本部というのが出来上がっています。そこに赤十字社のコーディネイトチーム。コーディネイトチームとは医師・看護師で構成されており、災害医療の知識を持った医師が現場に入る事で、采配をして頂けるそうです。それまでの医療調整本部はだいたい事務方が指揮を執っていましたが、事務では医療の知識が乏しいので、こういった医師が医療知識から助言して頂けるという事で最近はずまく回っている状況です。他にもDMAT（厚労省災害派遣医療チーム）、JMAT（日本医師会災害医療チーム）それからNPO法人が現地に入っております。それを束ねて指揮を執るのがコーディネイトチームです。

石川県支部は普段は大勢いるわけではなく普段は十数名なんです。職員もやっぱり疲弊しますので全国各地の赤十字社から職員を派遣します。

避難所だけでなく今は在宅避難というものがあります。特にコロナ禍、感染予防の観点から避難所へ行く

感染してしまうという事で在宅を選ばれた方が多かった。どちらかと言うと避難所に行く足が無いとか。そんな方達に救いの手を差し伸べる為に巡回診療というのをやっています。一軒一軒お宅の方に周り、色々な情報を集めながら巡回しています。避難所巡回もあります。被災者の方々は最初はお話してもなかなか反応してくれません。茫然自失で非常にコミュニケーションが時間掛かる感じですね。実は避難所で亡くなる方が非常に多いです。「災害関連死」と言いますが多くは心筋梗塞・脳溢血という様な人間の最も死因が高い原因のうちの一つなんです。静脈血栓症というエコノミー症候群が起こるんです。血管の中に血液の塊が出来て、それが循環する事で心臓や脳の細い血管の所で詰まってしまう。動けなくなった被災者の方々に少し立ち上がって運動して、水分摂って欲しいのですが、トイレ問題があり水分を控えようと敬遠したわけなんです。余計水分量が減って静脈血栓が出来やすくなった。その様な指導をしながら重症の方がみえたら医療機関に搬送しています。当初は道路状況が悪く自衛隊の車両に乗せてもらい、情報を聞きながら医療的な支援をしていました。

道の駅に救護所を開設しました。市内の殆どの医療機関は診療出来ない状況になっているので、テントを設置しそこで応急的な救護、場合によっては陰圧にして簡単なOPEが出来る様になっております。

避難所も地べたで寝てしまうと色々ハウスダスト的なものを吸い込んでしまい健康被害が出てしまうので、段ボールベッドで一段高い所で寝てもらおう。段ボールは非常に安く、厚紙と厚紙の間に空気層は防音・防熱の役割を果たしている。避難所でも健康的に過ごせる指導をしている。次に心のケア、身体的代償もそうですが精神的代償を負う方が沢山みえます。赤十字社では「心のケア班」というのを別途組織しています。被災者の方への心のケア、支援者の方への心の支援。自分も被災者でありながら住民サービスを切らすわけにはいかないで精神的に入り込んでしまうので、本当に大変そうの方への支援を指示しています。精神科医は同行しないので、見てみてこれは・・・という方はDMATの精精神科医チームに紹介して専門医に繋ぐ活動をしております。

当初ボランティアの方は現地に行くのは非常に危ないと、余震が続く落石があったりして危ないと、最初は制限を掛けていましたが、まずは物資を運ぶ事が大きな任務ですので、物資の搬送を若干手伝って頂いた。避難所への炊き出し、足湯などをさせて頂きました。それからボランティアセンター、通称「ボラセン」という社会福祉協議会によって立ち上がりました。宿の確保は最大のミッション。全国赤十字社は91の赤十字病院を持っています。それぞれの病院から救護班を派遣します。そういった方が毎日170名位、現地に入れ替わり立ち代わり継続して活動する為、営業出来ない、部屋だけなら貸しますと、日本赤十字社と協定を結んでいた輪島市のルートインホテルさんを使わせて頂きました。あと道の駅の隣のスペース、これは市が経営してましてお借りしました。珠洲市は「少年自然の家」があるので、そこも水は出ませんが隅をお借りしました。暖房器具も無いので寝袋を持参し寝る状況。

当初は医療支援、だんだん心のケア、最後はボランティアが引き継ぐのですが住民の方が「見捨てられた」と感じてしまう。そこを感じさせない引き継ぎが

難しく慎重にしています。引き継ぎをイベントにしながら支援を続けていきますと、子供に焦点を当てて「おしごとイベント」をしました。それでは最後赤十字社の活動をまとめた7分のビデオがあります。これを皆さんにお見せして終わります。ありがとうございました。



TT登場

副幹事 L.川田 基弘



本日は羽島LCも岐阜南LCもTTは欠席なので、TT代理の川田副幹事が務めさせていただきます。

◇羽島ライオンズクラブ様より
ドネーション頂きました。ありがとうございました。

前は国際理事のお話をさせて頂きましたが、昨年のオーストラリアのメルボルンの時は、日本から国際理事が通年は1人は出ていましたけども、残念ながらオセアルの地域は3名（偶数年は3名、奇数年は4名）の国際理事の割り当てがあります。今年はどこに決まったかと言うとマレーシア・韓国・中国から理事が出ました。次回はメキシコシティの予定がアメリカのフロリダ州オーランドに会場が変わります。ここはウォルトディズニーワールドやユニバーサルスタジオがありますので、是非皆さん参加して頂きたいと思ひます。

来年は奇数年ですから、オセアル地域は4名の理事が出る事が出来るので、毎年日本から2名の理事は確保していたんですが、どうなる事かと思ひますが、今回は334-E地区からL.西田がお出になる事と思ひますので、皆さん投票にお出かけになって下さいますよう、宜しくお願いします。

◇L.川田 基弘

¥10,000

岐阜南ライオンズクラブの事務局を私達が運営する協同組合「NCリンクビル」に移転頂き、ありがとうございます。コミヤマリックビルには長年お世話になり感謝申し上げます。

ライオンズクラブの名称が決まった事について、お話ししたいと思います。1900年の初頭に出来たわけですが、その頃はまだライオンズクラブという名前ではありませんでした。「シティクラブ」とかそういった地域も沢山あったようですが、手元に資料がないので第何回の国際大会か分かりませんが、あるライオンが「リパティ・インテリジェンス・アワネーションズ・セーフティ」と発表した事から決まったというエピソードがございます。それからこの紋章が出来たわけです。この紋章にはライオンの2つの顔があります。2つある意味がご存じの方いらっしゃいますか？

L.遠藤：「過去と未来」

その通りです。過去を見つめる顔と将来を見つめる顔です。ライオンズファームで獲れた大根2本贈呈です。



福祉・環境委員会

委員長 L.山崎 久喜



手塩にかけて育てた娘の様な大根4本を寄付させて頂きたいと思ひます。大事に食べて下さい。

L.市川 智己

子ども食堂
「おくるもり三輪」

11/23に使わせて頂きたいと思ひます。ありがとうございます。



出席報告

出席委員会

《羽島ライオンズクラブ》

正会員 26名 出席 12名
出席率 46.2%

《岐阜南ライオンズクラブ》

正会員 50名 出席 47名
出席率 94%

〔献血協力者〕 累計 106,535人 (10月末付)
〔ライオンズレート〕 11月・・1USドル=
153,148,207円

会計報告

会計 L.加藤 知彦

ファイン・ドネーション ￥64,500

ご報告

(岐阜南ライオンズクラブ)

1. 献血活動 献血推進委員会 学生献血活動 清掃活動
11月17日(日) 9:00 マーサ21

(ライオンズクラブ国際協会・334-B地区・第1R・第3Z その他)

1. 新会員オリエンテーション 11月2日(土) 13:15
ウインクあいち9F 901

ご案内

(岐阜南ライオンズクラブ)

1. 福祉・環境委員会 玉葱の苗・根付け
12月1日(日) 9:00 ライオンズファーム
2. 献血活動 献血推進委員会 学生献血活動 清掃活動
12月15日(日) 9:00 マーサ21

(ライオンズクラブ国際協会・334-B地区・第1R・第3Z その他)

1. 第2回キャビネット会議
11月21日(木) 18:00 TKP名古屋ルーセントタワー
2. 第1回市内7LC 会長・幹事会
11月22日(金) 18:00 燦別邸 岐阜店
3. 第2回ガバナー諮問委員会
12月16日(月) 17:00 ホテルグランヴェール岐山

【次回例会のご案内】

12月5日(木) 12:15
岐阜グランドホテル

「教養例会」